

限りある資源を未来に

LED照明で地球環境に貢献！

エコアクション21 環境活動レポート

2018年度版

(2017年11月～2018年10月)

作成日：2019年1月10日



株式会社コーセイジャパン

www.kosei-japan.com

目次

1. ご挨拶	-----	P.1
2. 環境方針	-----	P.2
3. 事業の概要	-----	P.3
4. 組織図及び認証・登録の範囲	-----	P.4
5. 2018年度および中期環境目標	-----	P.5
6. 2018年度の環境活動計画	-----	P.6
7. 目標の実績	-----	P.7
8. 活動計画の取組結果および 次年度以降の取組	-----	P.8
9. 環境関連法規等への違反、訴訟 等の有無	-----	P.9
10. 代表者による全体評価の見直し の結果	-----	P.9
11. これまでの活動実績	-----	P.10
12. 環境負荷軽減商品の販売に 伴う、二酸化炭素低減量	-----	P.11

1. ご挨拶

代表者コメント

当社は、省エネ照明の開発・製造販売を20年以上続けております。
1995年より省エネ電子安定器で照明事業を開始し、近年はLED照明を主力に販売しております。
LED照明は市場での認知度が高まっている一方、光の質の向上が問われております。
また水銀条約の発効に伴い、水銀を含む照明(水銀灯、蛍光灯)は世界的に廃絶に向かっておりますが、これまでの照明の代替になる快適な光を提供しなければなりません。
当社は明るくて快適な光を提供するとともに、地球環境にやさしいエコロジーな商品開発に組んでまいります。

代表取締役 安陵 範浩

経営理念

1. 私たちは、省電力照明の企画開発・製造販売を通じて、お客様の利益の向上を追求するとともに、低炭素社会の実現に貢献できるよう努力してまいります。
2. 私たちは、喜働により社会への貢献に努め、より良い人生を目指します。

2. 環境方針

基本方針

株式会社コーセイジャパンは、省電力商品の企画・設計ならびに販売を通じて環境負荷の軽減に取り組み、低炭素社会の実現に貢献できるよう努力してまいります。

行動指針

1. 省電力商品(LED照明など)の販売促進により環境負荷軽減に取り組む。
2. 環境負荷軽減商品(LED照明など)の企画・設計を積極的に行う。
3. 社内におけるゴミの分別の徹底、エネルギー使用量(電気・ガス・水道・ガソリン等)の抑制を行う。
4. 水銀廃棄物(蛍光灯、水銀灯)の管理と適正処理を徹底する。
5. 事務用品・工事材料等のグリーン購入を積極的に行う。
6. 環境関連法規等を遵守します。

2017年11月1日(改定)
株式会社コーセイジャパン
代表取締役 安陵範浩

3. 事業の概要

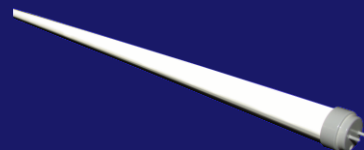
1.	事業所名	株式会社コーセイジャパン
2.	代表者	代表取締役 安陵 範浩
3.	所在地	福岡県京都郡苅田町港町8-11
4.	環境管理責任者	安陵 範浩
5.	連絡担当者	安陵 範浩
6.	連絡先	TEL : 093-436-6136 FAX:093-436-6141 E-Mail : n.yasuoka@kosei-japan.com
7.	事業の内容	L E D照明などの設計・製造、販売、施工
8.	事業の規模	資 本 金 3500万円 従 業 員 数 5人（役員含む） 直近売上高 9474万円 事業所面積 215㎡
9.	事業年度	11月1日 ～ 翌年10月31日 (今回の活動レポート対象期間は2017年11月1日～2018年10月31日)



LEDダウンライト



高天井LED照明



LED蛍光灯

4.組織図及び認証・登録範囲

認証登録範囲: 全事業活動及び東京営業所を除く全組織

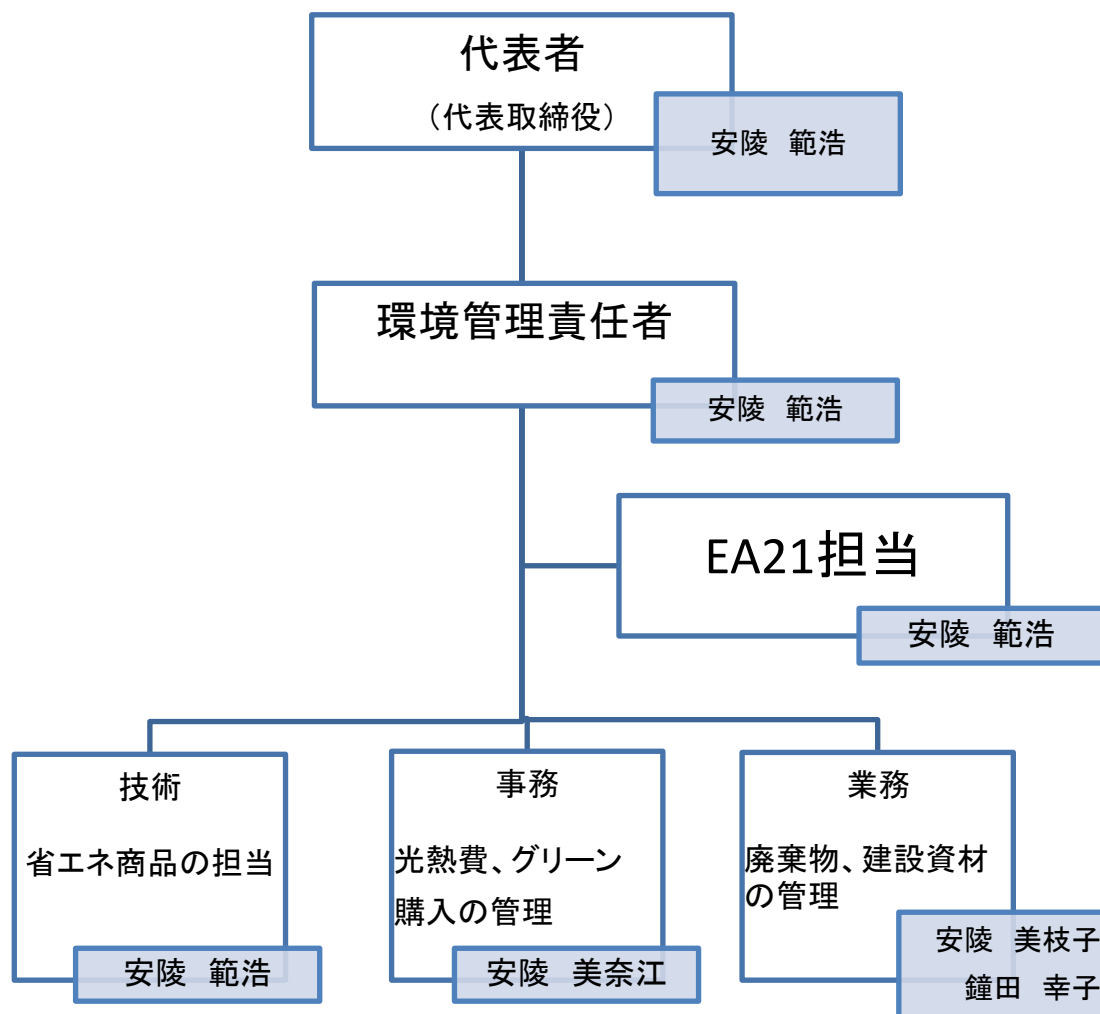
本 社

…対象組織 (4名)



本社

《 実施体制図 》



東京営業所

…対象外 (1名)

※2020年に拡大の予定

5. 2018年度および中期環境目標

環境目標	単位	2009/11～ 2010/10	2017/11～ 2018/10	2018/11～ 2019/10	2019/11～ 2020/10	2020/11～ 2021/10
		2010年度 (基準)	2018年度 目標	2019年度 目標	2020年度 目標	2021年度 目標
1. 二酸化炭素排出量	Kg-CO2 /人	3,740	3,152 (15%)	3,120 (16%)	3,076 (17%)	3,041 (18%)
電力使用量	kWh/人	1,580	1343 (15%)	1330 (16%)	1311 (17%)	1,296 (18%)
ガソリン使用量	ℓ/人	1,268	1078 (15%)	1067 (16%)	1052 (17%)	1040 (18%)
プロパンガス使用量	m ³ /人	10.82	0 (100%)	0 (100%)	0 (100%)	0 (100%)
2-1. 一般廃棄物総排出量	Kg/人	70.65 2012年基準	62.20 (12%)			
一般廃棄物(中間・最終処分) 総排出量 ※新基準			33.8 2018年基準	33.5 (1%)	33.1 (2%)	32.8 (3%)
2-2. 産業廃棄物の リサイクル率向上	%	70.5% 2012年度 (基準)	79.0% -(12%)	80.0% -(13%)	80.0% -(13%)	80.0% -(13%)
3. 総排水量(給水量)	m ³ /人	19.75	16.6 (16%)	16.4 (17%)	16.2 (18%)	16.0 (19%)
4. グリーン購入の推進	品目	-	6品目	6品目	6品目	6品目
5. 環境負荷軽減商品の販売による CO2削減	t-CO2 達成率	726 100%	980 135%	1016 140%	1053 145%	1470 150%
6. 水銀廃棄物の管理と適正処理	%		適正処理達成率 100%			

※電気の二酸化炭素係数は九州電力の28年度0.4839kg-CO2を用いた。

6. 2018年度の環境活動計画

取組目標		活動項目	実施状況
二酸化炭素排出量の削減（15%）	電気	待機電力削減	○
		クールビズ、ウォームビズ実施で空調電力の低減	○
		全照明を最新のLED照明導入	○
	ガソリン	エコドライブおよび公共交通機関の利用促進	○
		営業車にハイブリッドカーを購入	○
		納品及び工事車両に軽貨物車を導入	○
ガス	ガス使用を廃止、電気調理器の採用	○	
廃棄物排出量の削減（12%）	一般廃棄物	梱包材のリサイクル化向上	○
		再生紙および裏紙の使用	○
	廃棄物リサイクル率の向上	分別の徹底、産業廃棄物のリサイクル促進	○
		中古蛍光灯のリサイクル（無償譲渡）	○
総排水量の削減（16%）	節水活動	節水活動の促進	○
		雨水貯水槽の製作	○
グリーン購入の促進	グリーン購入の向上	①再生紙の使用促進（コピー用紙、封筒）	○
		②清掃用洗剤をエコ洗剤使用（SAVE九洗）	○
		③名刺の再生紙使用	○
		④鉛フリー電線の購入	○
		⑤営業車にG法適合のエコタイヤを購入	○
		⑥G法適合のシュレッダーを購入	○
環境負荷軽減商品の販売促進	LED照明の販売台数向上	省エネ診断の実施（90件）	○
		展示会への出展（2回）	○
		新製品の企画開発	○

7. 目標の実績

2018年度の目標における実績は以下の通りでありました。

環境目標		単位	基準 (2010年) 2009/11～ 2010/10	目標 (2017年) 2016/11～ 2017/10	実績 (2017年) 2016/11～ 2017/10	目標の 達成
1. 二酸化炭素排出量の削減	総量 Kg-CO2				7,758	
	Kg-CO2 ／人	3,740	3152 (15%減)	1,655 (51%減)	○	
電気使用量の削減	Kwh/ 人	1580	1343 (15%減)	1499 (5%減)	×	
ガソリン使用量の削減	ℓ／人	1268	1078 (15%減)	401 (68%減)	◎	
ガス使用量の削減	Kg／人	10.82	0 (100%減)	0 (100%減)	○	
2-1. 一般廃棄物総排出量	Kg／人	70.65	62.2 (12%減)	114.6 (-62%減)	×	
2-2. 産業廃棄物の リサイクル率向上	%	70.5%	79%	98%	○	
3. 総排水量の削減	m ³ ／人	19.75	16.6 (16%減)	12.9(35%減)	○	
4. グリーン購入の促進	品目		6品目	6品目	○	
5. 環境負荷軽減商品の販売 によるCO2削減	t-CO2 達成率	726 (100%)	980 (130%)	1529 (211%)	◎	
6. 水銀廃棄物の管理と 適正処理		適正処分率 100%	適正処分率 100%	適正処分率 100%	○	

※電気の二酸化炭素係数は九州電力の28年度0.483kg-CO2を用いた。

8. 活動計画の取組結果および 次年度以降の取組

取組目標		取組結果	次年度以降の取組
二酸化炭素排出量の削減（15%）	電気	削減目標を15%としたが、達成できなかった。 前年に比べ、猛暑によるエアコン使用時間の増加によるものである。	待機電力削減並びにクールビズ、ウォームビズの継続を行う。
	ガソリン	削減目標を15%としたが、これを達成できた。（68%削減） エコドライブや公共交通機関の利用促進が慣習化した結果である。	エコドライブおよび公共交通機関の利用促進を継続を行う。
	ガス	削減目標を100%としたが、これを達成できた。2017年より、ガス使用を廃止し、電気調理器を採用した結果である。	引き続きガス使用を停止し、100%削減を継続する。
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物	削減目標を12%としたが、達成できなかった。 環境美化のため、地域清掃活動を実施したので、一般ごみ（雑草）が増えた。	資源ごみのリサイクルを継続する。
	産業廃棄物リサイクル率の向上	リサイクル率の目標を79%としたがこれを達成できた。（98%削減）	引き続き資源ごみのリサイクルに取り組む。
総排水量の削減（16%）	節水活動	削減目標を16%としたが、これを達成できた。（35%削減） 節水の慣習化と、雨水利用のよる結果である。	引き続き、節水と雨水利用を継続する。
グリーン購入の促進	グリーン購入の向上	前回から引き続き、G法適用品の購入を実施した。	次年度も可能な限り継続する。
環境負荷軽減商品の販売促進	LED照明の販売台数向上	低コストタイプの直管LEDの販売を強化したことで、販売数が増加した。 展示会への出展回数を2回行い、顧客への省エネ診断の回数も上昇した。	水俣条約が昨年8月に施行されたので、水銀灯のLED化が加速すると予想される。よって販促強化に力をいれる。

9.環境関連法規等への違反、訴訟等の有無

環境関連法の遵守状況をチェックの結果、違反はありませんでした。

尚、関係当局よりの違反の指摘、利害関係者からの訴訟等も過去20年間ありません。

10.代表者による全体評価の見直しの結果

〔評価〕

環境経営システムが有効に機能しているか	本活動を始めて7年になるが、PDCAは回っており、問題なし。
環境への取組は適切に実施されているか	社員一同、協力して頑張っている。 また省エネ照明販売によるCO2削減は大きな成果を出している。

〔見直し〕

環境方針 変更の必要性	なし
環境目標 変更の必要性	一般廃棄物排出量は再資源化を除く、中間、最終処分の削減を来年度から実施。
環境活動計画 変更の必要性	なし
環境経営システム等 変更の必要性	なし

〔総評〕

二酸化炭素の低減は達成できた。

環境負荷軽減商品の販売によるCO2低減は目標達成できた。

平成30年1月15日
株式会社コーセイジャパン
代表取締役 安陵範浩

11. これまでの活動実績

取組内容	2012年～2018年度 2011/11～2018/10		
二酸化炭素排出量の削減	ハイブリッドカーの導入 	新社屋の照明LED導入 	社内の省エネ啓発 
廃棄物の削減 水銀廃棄物の適正処分 総排水量の削減	梱包材のリサイクル 	水銀廃棄物の適正処分 	雨水タンク設置 
グリーン購入	再生紙の使用 	エコ洗剤の使用促進 	鉛フリー電線の購入 
環境負荷軽減商品の販売促進	展示会出展(年2～3回) 		
	LED照明の施工販売 		
	LED照明の企画開発 		

12.環境負荷軽減商品の販売に伴う、 二酸化炭素低減量

環境負荷軽減商品(LED照明など)の販売により、既存照明からの電力削減による二酸化炭素低減量(予想)は以下の通りです。

〔販売数〕

単位:台

品目	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
高効率安定器	16,418	11,993	20,348	6,855	5,347	3,343	3,300	—	
一般LED照明	90	2,059	8,025	7,190	5,328	5,922	3,167	6,325	7,374
高天井用LED					42	312	566	655	636

※高効率安定器は、終了品のため2016年までとする。

一般LED照明 …… LED電球、LED蛍光灯、水銀灯250W以下用の代替LED製品

高天井用LED …… 水銀灯400W以上用の代替LED製品

〔電力換算〕

単位:Mwh

品目	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
高効率安定器	1,478	1,079	1,831	617	481	301	297	-	-
一般LED照明	27	618	2,408	2,157	1,598	1,777	950	1,898	2,212
高天井用LED					63	468	849	983	954
合計	1,505	1,697	4,239	2,774	2,142	2,546	2,096	2,881	3,166

※電力量換算の計算方法

高効率安定器 …… 1台あたり0.03kw削減 × 販売数 × 点灯時間(3000時間/年)

一般LED照明 …… 1台あたり0.1kw削減 × 販売数 × 点灯時間(3000時間/年)

高天井用LED …… 1台あたり0.5kw削減 × 販売数 × 点灯時間(3000時間/年)

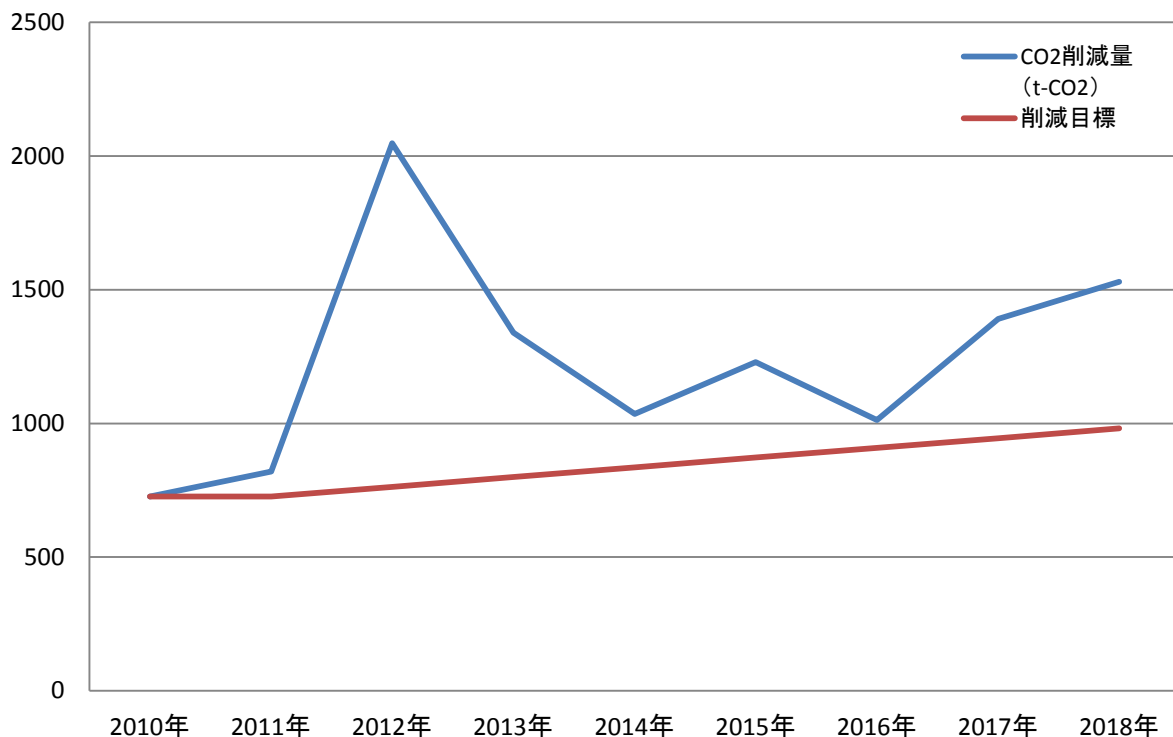
〔CO2換算〕※係数は九州電力の28年度0.483kg-CO2とする。

単位:t-CO2

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
CO2削減量	726	820	2047	1340	1035	1229	1012	1391	1529
削減目標	100%	100%	105%	110%	115%	120%	125%	130%	135%
実績値		113%	282%	184%	142%	169%	139%	191%	210%

t-CO2

環境負荷軽減品 販売によるCO2削減状況



(t -CO2)

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
CO2削減累積値	727	1,546	3,594	4,934	5,968	7,198	8,210	9,601	11,131

CO2削減累積値

